

## 公表 における自己評価総括表(児童発達支援事業)

○事業所名	こどもサポート教室教室「きらり」三島校		
○保護者評価実施期間	2024年10月21日		2024年12月21日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	16	(回答者数) 11
○従業者評価実施期間	2024年10月21日		2024年12月14日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	2025年1月11日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・個別支援をおこなっているため利用者の要望、状況に合わせた支援プログラムを組むことができるため概ね利用者からは支援内容について満足頂けていること。	・支援内容、プログラムについて支援員数(6人※非常勤含め)が少ないこともあり、ほぼ口頭で利用者の様子、支援の引き継ぎを密に行うことが出来ている。その際、必要に応じて経験のある職員から少ない職員への助言、提案等おこなうことが出来ている。	・法人設立の研究機関(「発達支援研究所」)より年間を通じて事例検討等毎月支援の質の向上のための研修が行われている。また、職員間の会話が多い事業所の風土もあり、経験の豊富な職員からの利用者の場面、状況に応じた話が得意な環境にあるためこれを続けていきたい。
2	・法人主導による報酬改定(制度改定)に伴うシステムの導入。	・支援記録、個別支援計画の作成等の制度改定に伴う運営に必要な書式システムの導入を法人主導でおこなっているため必要な事項を漏れが無く行うことが出来ている。	・法人が大きく、他の都道府県でも児童発達支援をおこなっているため上長を通じて情報を入手することが可能。良い事例を参考にさらに充実を図ることが出来る。
0			

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・建物の構造上、バリアフリーではあるが、入口が狭いため利用者の入れ替え時に若干混雑して利用者にご迷惑をかける場面がある。	・声掛け等のマンパワーで可能な限りご不快にならないようになっているが、入口の狭さは建物の構造上の要因である。	・利用者の利便性等に差しさわりのない移転物件を探している。 ・入口の混雑解消のため個人情報の漏洩に注意しつつ、利用者にお待ち頂く際、事務所の活用(お休みの職員がいるため)等おこなっていく。
2	・利用者との必要な情報のやりとり及び周知が不十分なこと。	・毎日の支援御のフィードバック時に保護者とのやりとりが出来ているが、時間に限りがあるため不十分になっている可能性がある。	・必要に応じて、支援後のフィードバック時以外の時間も電話等で児発管、支援員が保護者支援をおこなうことを再度周知していく。また、ブログ等を活用して必要な事項についての周知を進めていく。
3			

## 公表 等からの事業所評価の集計結果(児童発達支援事業)

事業所名 こどもサポート教室教室「きらり」三島校

公表日 2025年 2月 15日

利用児童数 16

回収数 11

		チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	10	1			・座っての活動にはスペースは十分。	
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	11					
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	11				・シンプルな空間のため子どもに分かりやすい。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	10	1			・1番の部屋の床の汚れがきになります。概ねきれいだと思います。 ・1番の部屋の床のむき出しの部分カーペットで塞ぎました。	
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	11				・前回の様子を支援員が共有されているため適した支援がされている。	
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	10			1	・支援プログラムと内容があっている。	
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	11				・子どもの様子、保護者の意見を聞いたうえで計画が作成されている。	
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	11					
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	11					
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	11				・日によって先生が代わり工夫されている。	
保 護 者 へ の 説 明 等	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。		1	8	2		・保護者の要望に応じて個別に対応しております。今後も要望に応じて対応させていただきます。
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	11					
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	11					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	1	3	3	4		・行政等の公共機関で行われる研修案内等は掲示等で周知させて頂いております。また、利用者からのご要望、ご相談には個別にて対応させて頂いております。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	11				・変化があった時は、支援の前後に伝えていく。	
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	10	1			・必要に応じて相談し助言をもらっている。	
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	11				・子どもの気持ちを共感して支援がされていると感じている。	
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。		1	7	3		・家族への支援については、ご相談がありましたら個別にて対応させて頂いております。 ・保護者会等の交流に関しましては、利用者からのご要望がありましたら対応させて頂きます。

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	10			1	・必要に応じて相談させてもらい対応してもらっている。	
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	11				・個室の空間のため相談し易い雰囲気。	
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	5		1	5	・HPはよく更新されている様子。	・自己評価については、HP、掲示で周知しております。また、活動内容等については、口頭、掲示、2回/月ブログにて周知しております。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	9	1		1		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	7	2		2	・マニュアルの説明は受けたが訓練をしているか？わからない。	・訓練を行っていることについてブログ等で公表致します。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	4	1	2	4		・当事業所では、会社の年間スケジュールに則り毎月非常災害発生に備えた訓練を一部の利用者にご参加頂き、行っております。訓練の実施状況については、今後ブログ等にて周知していきます。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	9	1		1		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	8	1		2	・事故（怪我）が発生していないためわからない。 ・入口のドアで手を挟んだ事例を伝え、安全に配慮してもらっている。	
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	11				・安心感があり、とてもリラックスできている	
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	11				・通所を楽しみにしている	
	29	事業所の支援に満足していますか。	11				・満足している、丁寧に対応してもらっている。	

公表 における自己評価結果 (児童発達支援事業)

事業所名	こどもサポート教室教室「きらり」三島校	公表日	2025年 2月 15日
------	---------------------	-----	--------------

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	2		・教室の活動スペースが広くないため、会社と相談の上、機会があれば移転を検討する。
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7			
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	2		・段差がないためバリアフリーではあるが、入口の狭いこと課題としてある。また、利用者のプライバシーを守ることも工夫が必要である。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7			
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7			
業務改善	6 業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	7			
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7			
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7			
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		7		第三者評価は現在未実施。法人として今後実施を検討中である。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7			
適切な支援の	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7			今年度中に支援プログラムの公表を行う。
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	7			
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7			
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7			
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7			
	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7			・利用者の要望に応じて個別に対応している。周知が十分でない可能性はあるため今後も周知を続けていく。
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7			

提供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7			
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	7		・基本的に個別支援を行っているため集団活動が必要な利用者については、相談支援事業所等を通じて他事業所との併用を保護者に勧めている。他事業所との情報共有は、保護者、相談支援事業所を通じておこなっている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7		・支援時間が、終業時間まじかまでである場合は翌日に支援の振り返りを行っている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7		・定期的に支援記録の検証をおこなっている。必要に応じて改善につなげている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7			
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7		・基本的に支援時間の関係から児発管が参加している。今後必要に応じて支援員も参加できるように配慮したい。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7			
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7		・利用者の状況、保護者の要望に応じて個別に対応している。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7		・利用者の状況、保護者の要望に応じて個別に対応している。	・利用者への周知が不十分の可能性ある。今後、周知していきます。
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)				
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	7		・利用者の状況、保護者の要望に応じて個別に対応している。	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		7	・利用者の状況、保護者の要望に応じて個別に対応している。	・利用者への周知が不十分の可能性ある。今後、周知していきます。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7			
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7		・行政等の公共機関で行われる研修案内等は掲示等で周知させて頂いております。また、利用者からのご要望、ご相談には個別にて対応させて頂いております。	
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7				

保護者への説明等	36	児童発達支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7			
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	7			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4	3	・利用者の状況、保護者の要望に応じて個別に対応している。	・利用者への周知が不十分の可能性ある。今後、周知していきます。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		7	・利用者の状況、保護者の要望に応じて個別に対応している。	・利用者への周知が不十分の可能性ある。今後、周知していきます。
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7		・利用者の状況、保護者の要望に応じて個別に対応している。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	5	2		
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7			
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7			
非常時等の対応	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		7		・利用者からの要望がありましたら実施を検討します。
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	2		・利用者への周知が不十分の可能性ある。今後、周知方法を工夫します。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7			
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	7		新規利用面談時及び毎年の状況アセスメントをおこなっている。また、状況の変化があれば都度伺っている。	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。		7	飲食物の提供をしておりません。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7			
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	3		・利用者への周知が不十分の可能性ある。今後、周知方法を工夫します。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7			
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7			
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	7			